京都ではどこに行きますか？

☆ねらい

　不定詞の２つの用法（名詞的用法、副詞的用法）を使っての会話文を６文以上書ける。

☆扱う場面

　・学年　２年

　・「不定詞」を学習した後の最後の自己表現活動

　・所要時間　１時間（事前に自主研修の計画作成が終わっていること）

☆指導の手順と留意事項

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導の仕方・留意点等 |
| 1. ビンゴゲームをする。
 | ・修学旅行先の京都をイメージさせるいくつかのKey Wordを使ってビンゴゲームをさせる。 |
| 1. 不定詞を使って、表にある目的地ごとの英文の空欄を埋める。
 | ・日本文を参考に、４つの目的地に行く「目的」と「理由」の英文の空欄を埋めさせる。・自主研修の目的地によって文の変更や単語の変更　が可能であることを知らせる。 |
| ③ ②の英文を使ってペアで会話をする。 | ・じゃんけんをして勝った人にＡ、負けた人にＢを担当させる。・対話文のＡの英文は固定して、Ｂは②での答えを参考にして英問英答に慣れさせる。・ペアを変えて何度か練習をさせる。 |
| ④ ③の会話文を参考にして、自分の行きたい場所の英文を作る。 | ・③で使用した対話文の形式で、実際に自分の行きたい場所２か所に関する英文を作らせる。答えの文は②での答え方を参考にして、自分らしい文を作るよう励ます。・支援を必要とする生徒は、②の答えの部分の単語を入れ替えるだけで良いことを知らせる。・質問の文を書かせることで、質問の仕方を身に付けさせる。 |